

【三島市におけるグローバル人材育成都市を目指した事業構想】

[本事業の背景]

1. 三島駅北口周辺には大学、高校、通信教育会社、企業研修所、学習塾、小中学校、幼稚園が集積しており、県内有数の文教都市である。
2. 三島市は1957年7月に全国の市町村の中で4番目の早さでアメリカ合衆国カリフォルニア州パサディナ市と海外姉妹都市提携を締結し、国際交流に歴史ある都市である。
3. 市内に国内で最初に国際関係学部を大学に開設した日本大学国際関係学部が所在する。
4. 文部科学省は全国37大学をスーパーグローバル大学を選定するなど、大学の国際化を支援しており、また、高校においては県立三島北高校が、県内で唯一スーパーグローバルハイスクールの指定校となっている。
5. 国が地方の人口減少・超高齢社会対策を進めるため、「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し地方創生担当大臣を新設。国と地方が連携し、地方創生の取り組みを推進。

[本事業のねらい]

市内に大学、高校等の教育機関、通信教育会社、企業研修所等が立地している地域資源を活かし、産・学・官の連携により、関係機関を構成メンバーとして組織を発足させ、これを契機に本市発のグローバル人材育成を一層推進し、都市の魅力を高めていく。また、副次的な効果として本事業の実施や情報発信を通じて、地域経済の活性化、将来の定住人口の増加を目指す。

[想定される事業]

1. 中学、高校において国際コースを設置するなど、外国語教育をはじめとした特徴ある教育の実施（主に私学を想定）
2. 学習塾（通信添削を含む）と中学校、高校との連携（主に私学を想定）
3. 小学校⇄中学、中学⇄高校、高校⇄大学などの英語教育に関する学校間連携授業（講座）の実施
4. 海外姉妹都市交流事業を活発化させ、市民レベルでの国際交流の強化・充実
5. グローバル人材を養成するための奨学金の設置（民間事業者・行政との連携）
6. 海外留学（短期・長期）のための補助金の創設（高校、大学）

[期待される効果]

1. 産・学・官の連携により特徴ある教育を実践する学校等が所在する都市として、様々な手法によりグローバル人材を育成し、成果を上げ知名度を高めることで、教育に特色あるまちづくりを進める。
2. グローバル人材を育成・輩出し、大学進学や就職で他地域との差別化を図る。将来、Uターン就職や起業等により三島市内への居住を期待。
3. 本市の地域資源を活かした市民と市内在住外国人等との積極的な国際交流
4. 産、学の新たな連携を生み出し、グローバル人材育成につながる教育を実践し、新規事業等により雇用の創出等につなげる。  
まずは、連携可能な事業者間・枠組みで協議し、連携をはじめめる。（産・学・官が一体となった連携である必要はない。）

[事業実施の課題]

1. 私学や民間事業者が連携し、事業効果が得られるようにするための枠組みづくり。
2. 義務教育において特定の分野の人材を育成することの限界。
3. 事業実施主体は私学、企業。市の上位計画での位置づけ。
4. 県立高校との連携（県教育委員会との調整）
5. 幼→小→中→高→大の順につなげていくための事業展開、連携方策
6. 小中一貫教育等の学校教育制度の変更、学習指導要領の改訂や入試改革等の国や県の動向に注視

[組織発足時の教育機関等]

日本大学国際関係学部、日本大学三島高校、日本大学三島中学校、総合研究大学院大学（国立遺伝学研究所）、順天堂大学保健看護学部、県立三島北高校、(株)Z会、鈴木学園 [しらゆり幼稚園、静岡進学セミナー]、三島市国際交流協会  
 (市内中学校7校、市内小学校14校、市内幼稚園11園 ※義務教育は事業の進捗により適切な時期の参画)

※今後、本組織の趣旨に賛同する新たな学校、企業等がある場合は随時加わり、連携を進めて行く。

〈アドバイザー〉 学校法人加藤学園（暁秀初等学校、中学校、高校）  
 学校法人聖心女子学院（不二聖心女子学院中学校、高校）

